

まごころ

社協だより



No.235
2023.6.25

社会福祉法人

福井市社会福祉協議会

〒910-0018 福井市田原1丁目13-6
フェニックス・プラザ1階(福井市民福祉会館)

TEL 0776-26-1853

FAX 0776-26-9109

HP <http://www.fukuic-shakyo.jp/>

<https://www.facebook.com/fukuic.shakyo/>

info@fukuic-shakyo.jp



こちらのQRコードから、当会Webサイトの社協だより掲載ページにリンクできます。PDF形式とテキスト形式(※文章のみ)で公開しています。

この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金を受けています。

わたし×ふくし=支え合い



食事サービス活動の場が、食文化の伝承や福祉委員同士のコミュニケーションの場になっています。

今回の表紙

一乗地区社会福祉協議会

誰もが安心して暮らすことのできる地域社会にするために、住民同士が見守り・支え合う活動に日々取り組んでいます。

CONTENTS

- 23 令和4年度決算及び令和5年度事業計画予算
- 45 福井市社協が取組む権利擁護事業のご案内
- 6 児童館紹介、放課後児童クラブ支援員募集
- 7 ボランティアセンターからのお知らせ等
- 8 事業のお知らせ、寄附・寄贈等

●どのような活動をしているのですか？

地域住民による見守り・支え合い活動の一環として、ひとり暮らし高齢者の食事サービス事業を行っています。福祉委員を中心に地区社協役員の皆さんが地域の食材を持ち寄り、献立づくりから高齢者宅へ配達するまでを、みんなで力を合わせて取り組んでいます。

●活動のやりがいや活動をして嬉しかったことは？

お弁当のメニューは、昔ながらの地域の伝承料理が中心で、「福祉委員のお弁当はおいしい!!」と大好評。毎回、「楽しみに待ってたわ。ありがとう!」という高齢者からの声が元気の源です。

また、大雪の時期に、見守りや安否確認を兼ねて配食を行った際に、高齢者からは、「一人で心細かった。来てくれてありがとう!」と涙ながらに心の内を語ってくれました。こんな時だからこそ、福祉活動に取り組んでいてよかったなと心から思えました。

●「わたし×ふくし=支え合い」の解説をお願いします。

一乗地区は若い世代の人口減少と高齢化が進み、5、10年後には今よりもっと高齢者が多い地域になると予想しています。元気高齢者が手助けを必要としている人にちょっとしたサポートをすることで、自立した地域生活を維持していくことができます。

地域に住む人たちが、お互いの「できる」で支え合う仕組みをつくる必要があると考えます。

年老いて周囲の手助けが必要になった時に、遠慮なく支えてもらえるような一乗地区にしていきたいと思い、今、みんなで一生懸命に取り組んでいます。

わたし×ふくし
ミニインタビュー